

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 向井 美穂
吉岡 順一

- 1 日時 令和5年10月20日（金）第5校時
- 2 学年 にこにこ1組 8名（3年女子2名 4年男子2名 5年男子3名 6年女子1名）
- 3 単元名 幸せについて考えよう！にこにこ幸せ発見隊

4 単元目標

探究のサイクル1

○一人一人が感じている幸せについて調べてみよう。

探究のサイクル2

○みんなの幸せを願って働いている人について調べてみよう。

探究のサイクル3

○みんなが幸せになるためにできることを考えて発信していこう。

5 単元について

(1) 教材について

本単元は、「幸せに過ごすにはどうしたらよいか調査したことを自分自身に置き換えて考えたことを伝える」ことを最終的なゴールにして、身近な人や普段直接関わることが少ないけれど、みんなの幸せを願っている人にインタビューをすることを通して、聞いたことをまとめたり伝えたり、協働的に課題解決に取り組むプロセスを繰り返すことができる単元である。また、この学習を通して児童自身が幸せについて考えたり、深めたりすることで自分を大切にしたり、自分以外の身近な人への思いやりを深めたりしながら、仲間と共に幸せな社会をつくる主体を育てることを目的としている。より広い視野で幸せについて捉え、自分では気付かなかった幸せの捉え方を発見することができる。様々な特性のある子供たちがこれからの社会で幸せに過ごしていくために、主体的に学習することで生涯仲間と共に学びを深める力を付けることができる。と考える。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに3年生では福祉、4年生では防災、5年生で食文化について学習をしてきている。しかし、交流学級での学習だったため、自分の思いや考えから出発した学習になりやすく、主体的に学ぶことが限られた場面ではできなかった。そこで今年度は初めて総合的な学習に取り組む3年生と一緒に、総合的な学習とはどんな学習なのかを改めて捉え直し、本当に自分たちが今探究してみたいことについて学習していこうという話合いから本単元を設定した。子供たちがテーマとして選択したのがみんながにこにこになる毎日についてだった。にこにこ学級にしていると安心して笑顔になれる。でも交流学級に行くと辛くなってしまいう現実を捉え、どうやったらみんなが幸せに過ごしていける世の中になっていくのかと考え始めた。そこでみんなが楽しくなるためのにこにこ大作戦を展開していくことになった。人と関わったり、誰かに尋ねたりすることを得意としない児童が多いが、一人一人に役割を持たせてインタビュー活動を設定することで、話を聞こうとする気持ちや相手の思いを感じ取ろうとする気持ちが高まってきている。その中で、身近な人はどんなことに幸せを感じるのかを調査し、人の幸せなことを聞くと、聞いている自分も幸せな気持ちになること、また幸せなことを共有することでその人との心理的な距離が近くなり、親しみが増すことなどを発見してきている。

(3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	身近な人やみんなの幸せを願って働いている人の幸せについてインタビューする活動を設定することで主体的な学びを促す。
コミュニケーション力	インタビューを依頼する活動やグループ活動を充実させることで、他者と関わるための方法を学んだり、実際に行動することでそのスキルを身に付ける。
メタ認知	毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。そこで自分の成長への気づきやグループ内の交流で分かったことなどを整理させるようにする。

6 評価規準及びルーブリック

(1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 身近な人が考える幸せについてインタビューを通して理解できる。</p> <p>イ インタビューをするときの受け答えの技能やまとめる技能を身に付けている。</p> <p>ウ 他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かる。</p>	<p>ア 身近な人の幸せを知る活動を通して幸せを願って働いている人について課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。</p> <p>イ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。</p> <p>ウ 整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりしてまとめている。</p> <p>エ 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。</p>	<p>ア 探究活動を通して、自分自身が考える幸せについてさらに多くの幸せを見つけていきたいと、探究活動に取り組んでいる。</p> <p>イ 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。</p>

(2) 探究のサイクル2におけるルーブリック

資質・能力			B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	イ	他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かる。	他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かり、自己の生き方につなげて考えることができる。
思考・判断・表現	コミュニケーション力	ウ	整理した情報を比較して共通点や相違点を考察して分析している。	整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして分析している。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	イ	自分なりの方法を考えて探究活動に取り組んでいる。また、他者と協働して学び合っている。	課題意識を持って、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。

7 指導と評価の計画（全 70 時間）

*別紙 1 : 「単元構想図」 参照

8 本時の展開

本時の目標 インタビューの振り返りや、共通点を見つける活動を通して、誰かのために働くことも幸せを感じられることに気付くことができる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 前時の振り返りから本時の学習活動を確認し、本時のめあてと評価の基準を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでにインタビューをした人を想起し本時の課題を設定していく。 ○幸せコレクション（インタビューをして分かったことをまとめたカード）を活用する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> めあて インタビューの振り返りをして、いろいろな種類の幸せを見つけよう。 </div>		
2 インタビューをした人が言っていたことを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【例】 幸せコレクション、ポートフォリオファイル </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオを活用して、どんなことを話していたか思い出す。（興味をもって話ができるように、大切な部分をクイズ形式にして想起できるようにする。） 	
3 共通点を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ○似ている考えは線分けや色分けをしてまとめるなどして整理する。 	
4 インタビューの動画を流し大切な部分を全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビュー「みんなの幸せを願って働いている」ことについて話している場面を電子黒板で提示し、自分のことから相手を思うことに話の内容が広がっていることに気付かせる。 	
5 みんなの幸せを願って働いている人は他にもいないか考えを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人だけでなく、陰で支えてくれているたくさんの人に気付けるよう、国語で学んだ「朝が来ると」（まどみちを）の詩を手掛かりに考える。 	
6 本時の学習を振り返り、次時の学習活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○次の活動の見通しをもたせるために、今日の学習の振り返りをさせて、気付きや新たな発見などを共有していく。その際もっと知りたいことに気持ちが動くよう、振り返りのジャンプを意識させる。 	【③-I】 (発言分析・ワークシート)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 振り返り 自分が感じる幸せを見つけるだけでもうれしい気持ちになったのに、周りの人の幸せを考えて働いている人がたくさんいると思うと、なんだか幸せな気持ちになってきた。みんなの幸せを考えている人のことをもっと知りたいと思った。今までインタビューをした人にも仕事について聞いてみたい。 </div>		

9 板書計画

